

平成20年度 麗澤中学・高等学校 自己評価

麗澤教育の理念

麗澤教育は、創立者廣池千九郎が提唱した道徳科学「モラロジー」に基づく知徳一体の教育を基本理念とし、学生生徒の心に仁愛の精神を培い、その上に現代の科学、技術、知識を修得させ、国家、社会の発展と人類の安心、平和、幸福の実現に寄与できる人物を育成する。

麗澤教育をめざす人間像

1. 大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い英知を備えた人物
2. 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物
3. 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物

1. 平成20年度麗澤中学・高等学校の重点目標

A. 大変よく実施できた B. ほぼ実施できた C. 不十分であった

(1) 学校経営の重点

目 標	評 価
(1) 保護者および卒業生との絆を深め、麗澤教育に対する理解と支援につなげる。 (2) 「学校評価」「教員免許更新」「学習指導要領改訂」などの教育改革に関する施策への迅速な対応をする。	(1) 麗澤高校開校60周年の大同窓会が開催され約1000人が参加した。卒業生によるミニ講演会や芸術展に高校生も参加し、交流ができた。 (2) 地区別懇談会を2回開催した。 (3) 年度内に自己評価の公表ができなかった。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">B</div>

(2) 教科指導の重点

目 標	評 価
(1) コース制の特色を活かすため、各教科の取り組みについて検討する。 (2) 授業力向上を目指し、自己目標の設定、研究授業、研修をさらに推進する。 (3) 教科学習と部活動の両立を支援するため、学校全体としての指導方法を工夫する。	(1) 駿台研究セミナーに、理科(7名)、数学科(5名)、国語科(5名)、社会科(4名)、英語科(1名)教員が参加し、研修を行った。 (2) 中学、高校それぞれ放課後の課外講座及び休暇中の特別講座を実施した。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">A</div>

(3) 教科外活動の重点

目 標	評 価
(1) 生徒会活動と部活動における中高の連携を強化し、指導の一貫性と成果の向上を図る。 (2) 生徒会活動、委員会活動を活発化させるために、生徒の自主的活動を支援する。	(1) 生徒会活動に対して教員側から支援と協力を行った。 (2) 部活動の中高連携を強化することは十分で きなかった。 <div style="text-align: right;">B</div>

(4) 生徒指導の重点

目 標	評 価
(1) 道徳心が引き出される教育的環境づくりに努める。	(1) 生徒との面談等により、いじめの早期発見、迅速な対応に努めたが、十分ではなかった。 (2) 明るく元気な挨拶ができるようになった。 <div style="text-align: right;">B</div>

(5) 進路指導の重点

目 標	評 価
(1) 20年度の大学入試結果を分析し、中高一貫体制及びコース制の弱点補強を図り、合格率を上げる。 (2) 自分プロジェクトの実践報告をまとめる。	(1) 自己推薦文や小論文指導、模擬面接、個別指導を積極的に行い、大学合格実績の目標をほぼ達成できた。 (2) 実践報告集を完成できなかった。 <div style="text-align: right;">B</div>

(6) 広報活動の重点

目 標	評 価
(1) 校内の教育活動を教職員が理解し、共有できるように内部広報の充実を図る。	(1) 中学校および塾への積極的な訪問、および寮選抜とスポーツ選抜試験を新たに実施した。 (2) 職員会議、教員研修会等で内部広報を行い、学校説明会の充実を図った。 <div style="text-align: right;">A</div>

2. 学校教育部門

【教務部】

1. 特色ある教育課程を編成し、実施できたか。
2. 学校行事や式典などが計画的に実施できたか。
3. 学籍や成績に関する書類の作成、処理、管理などを確実に遂行できたか。
4. 家庭との関連、特に保護者学級や授業公開などの企画・運営が実施できたか。
5. 教育活動が円滑に進められるよう部内で業務を分担し、それぞれが着実に遂行できたか。

【入試・広報部】

1. 学校案内のパンフレットの内容を全面改訂できたか。
2. 広報ツール（リーフレット、説明会資料）の見直し改善できたか。
3. 受験希望者、保護者及び近隣の塾を対象に説明会を開催できたか。
4. 外部団体主催の学校説明会等に積極的に参加し、本校の広報を行うと共に私学の置かれている現状を把握できたか。
5. 近隣の塾への訪問計画を立てて、情報を適切な時期に伝えることができたか。
6. モラロジー組織および卒業生へのPRに努めることができたか。
7. 寮生募集について見直し、募集体制を再構築することができたか。
8. 学校内、法人内向けの広報について、状況や必要な情報を種々の機会周知できたか。
9. データおよび情報を蓄積できる体制を構築し、分析結果を定期的に周知、説明できたか。

【進路指導部】

1. 課外講座を充実させたか。
2. 進路システム（PCソフト）を普及させ、進路指導に役立たせたか。
3. 教科担当と学級担任など教員間の連携を密にして個人指導の徹底を図ったか。
4. コース制を活かした学習指導、進路指導を強化したか。
5. 難関国公立大学、上位私立大学の現役合格が増加したか。
6. 『進路の手引き』を発行できたか。

【生徒指導部】

1. いじめの未然防止・早期発見・迅速な対応は出来たか。
2. インターネット、携帯電話使用についてのマナーの徹底が出来たか。
3. 身だしなみや挨拶が徹底され、マナーが向上したか。
4. 校舎内外の美化活動に対して、美化係と協力して指導を行ったか。

5. 登下校時のマナー、交通安全指導を行ったか。
6. 保健室、カウンセラー、健康支援センターと連携、生徒の心身の健康状態を把握したか。

【特活指導部】

1. 麗鳳会活動が全体を通して活発に行われたか。
2. 自主性を育成し、リーダーの育成ができたか。
3. 部活動と学習活動の均等を図ることができたか。
4. 各諸行事が企画運営等も含め目的を果たすことができたか。
5. 各委員会が活発に活動することができたか。
6. 活動に必要な施設・設備の充実を図ることができたか。
7. 中・高の連携がしっかりとれたか。

【メディアセンター】（教育機器）

1. コンピュータ・ネットワーク機器の全面更新を行ったか。
2. 教室配備のAV機器の定期的なメンテナンスを行ったか。
3. AV資料、映像教材・資料のデジタル化（DVD化）の支援体制を強化したか。
4. 教員および生徒へのサービスの充実を図り、教育活動の支援体制を強化したか。
5. デジタル機器（DVD）の教室配備と活用を推進したか。
6. 校内のネットワーク環境の整備充実を図り、管理運営にあたったか。

【メディアセンター】（図書）

1. メディアセンター内の図書の充実と更新をしたか。
2. 生徒指導部と担任と連携して図書利用のルール、マナーの向上を図ったか。
3. 朝読書の成果が十分に得られるよう協力できたか。
4. 図書委員が主体的に活動できるよう支援を行ったか。
5. 学級文庫の利用向上を目指して本を配備できたか。
6. メディアセンター内の学習環境づくりを図ったか。

【麗寮（生徒寮）】

1. 寮運営は、建学の精神に則った指導ができたか。
2. 寮生は夜間学習を継続するなど学習習慣を身につけ、成果をあげることができたか。
3. 寮内外の清掃・美化に努め、施設を大切に使う風潮を保てたか。
4. 寮生は学年や役員・係・当番などの立場を通して、責任感をもつ運営ができたか。

5. 病気や怪我、問題行動などに迅速で的確な対応ができたか。 A
6. 寮担任・寮職員はそれぞれの業務を確実に遂行し、連携して寮生指導ができたか。 A
7. 広報活動を強めることができたか B

【国際部】

1. 国際交流および提携校との維持開発全般に関する立案、調整を行ったか。 B
2. 国際貢献（ボランティア活動）の企画・立案はできたか。 C
3. 日本文化の発信地となるべく諸外国の教育関連団体の受け入れを行ったか。 A
4. 公的機関の海外研修プログラムの紹介を行ったか。 C
5. 生徒海外研修（豪州、タイ、ニュージーランド等）を実施したか。 A
6. 交換留学生の受け入れ、送り出しの調整、および交換留学制度を実施したか。 C
- *本年度は希望者なく実施せず。
7. 海外留学希望者に関する相談窓口としての機能を果たしたか。 B

3. 生徒による授業評価アンケート

以下は、北辰図書株式会社の「システムD」による授業評価アンケートの結果である。このアンケートは、中学と高校それぞれ全校生徒を対象とし、2学期最後の授業で実施された。

1から3までの質問は、生徒自身の学習態度に対する自己評価である。質問3「あなたは、この授業に必要な家庭学習（予習、復習等）をしていますか？」という問いに対して、否定的な回答（どちらかと言えばそう思わない、いいえ）が、中学では63%、高校では56%となっているのは今後の課題である。

4から14までの質問は教師に対する生徒の評価である。おおむね好ましい回答となっているが、質問11「授業の進め方（組み立て）は、興味関心を引き、学習意欲をわかせると思いますか？」については、中学では27%、高校では28%との生徒が「どちらかと言えばそう思わない」または「いいえ」と回答しており、教師の授業展開に工夫が求められている。以下は具体的なデータである。

1. あなたは、この授業でマナー（私語、居眠りをしない）を守っていますか？（授業マナー）

回 答	中学評価	高校評価
はい	51%	58%
どちらかと言えばそう思う	31%	25%
どちらかと言えばそう思わない	13%	12%
いいえ	5%	5%

2. あなたは、自分なりの目標を持って、この授業に積極的に参加していますか？（授業参加）

回 答	中学評価	高校評価
はい	34%	40%
どちらかと言えばそう思う	35%	33%
どちらかと言えばそう思わない	21%	18%
いいえ	10%	9%

3. あなたは、この授業に必要な家庭学習（予習、復習等）をしていますか？（家庭学習）

回 答	中学評価	高校評価
はい	18%	22%
どちらかと言えばそう思う	19%	22%
どちらかと言えばそう思わない	21%	19%
いいえ	42%	37%

4. 先生の話し方や説明の仕方はわかりやすいですか？（話し方）

回 答	中学評価	高校評価
はい	51%	52%
どちらかと言えばそう思う	31%	29%
どちらかと言えばそう思わない	13%	13%
いいえ	6%	7%

5. 先生の黒板・プリント等の使い方（体育・芸術は実技指導）は良いと思いますか？（板書等）

回 答	中学評価	高校評価
はい	53%	57%
どちらかと言えばそう思う	29%	26%
どちらかと言えばそう思わない	11%	11%
いいえ	6%	6%

6. 先生の授業は、重要なところが強調されていますか？（要点強調）

回 答	中学評価	高校評価
はい	52%	55%
どちらかと言えばそう思う	29%	29%
どちらかと言えばそう思わない	13%	11%
いいえ	6%	6%

7. 授業の学習内容のレベルは、ちょうど良いと思いますか？（授業難度）

回 答	中学評価	高校評価
はい	52%	61%
どちらかと言えばそう思う	29%	26%
どちらかと言えばそう思わない	11%	9%
いいえ	5%	5%

8. 授業を進めるスピードは、ちょうど良いと思いますか？（授業速度）

回 答	中学評価	高校評価
はい	55%	60%
どちらかと言えばそう思う	28%	25%
どちらかと言えばそう思わない	11%	10%
いいえ	5%	5%

9. 先生の授業は、生徒の理解を確かめながら進められていますか？（理解確認）

回 答	中学評価	高校評価
はい	47%	47%
どちらかと言えばそう思う	32%	29%
どちらかと言えばそう思わない	14%	15%
いいえ	7%	8%

10. 先生は、生徒の質問や発問を促し、ていねいに対応していますか？（質問発言）

回 答	中学評価	高校評価
はい	54%	57%
どちらかと言えばそう思う	29%	26%
どちらかと言えばそう思わない	12%	11%
いいえ	5%	6%

11. 授業の進め方（組み立て）は、興味関心を引き、学習意欲をわかせると思いますか？（授業展開）

回 答	中学評価	高校評価
はい	41%	42%
どちらかと言えばそう思う	33%	30%
どちらかと言えばそう思わない	17%	18%
いいえ	10%	10%

12. 先生の授業に熱意を感じますか？（教員熱意）

回 答	中学評価	高校評価
はい	55%	57%
どちらかと言えばそう思う	27%	27%
どちらかと言えばそう思わない	12%	10%
いいえ	6%	5%

13. 私語などに対して適切な対応が取られ、公平で思いやりのある授業ですか？（公平対応）

回 答	中学評価	高校評価
はい	53%	56%
どちらかと言えばそう思う	29%	27%
どちらかと言えばそう思わない	11%	11%
いいえ	7%	6%

14. この授業は、あなたにとって良い授業だったと思いますか？（満足度）

回 答	中学評価	高校評価
はい	57%	55%
どちらかと言えばそう思う	26%	27%
どちらかと言えばそう思わない	10%	11%
いいえ	7%	7%